

令和8年度 アオコ情報（河川 No. 9）

7月28日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}の最大値は、新川でアオコレベル4相当^{※2}、土浦沖合でアオコレベル3相当、備前川でアオコレベル2相当でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋でアオコレベル4相当（フィコシアニン濃度：4420 µg/L）、新港橋及び新川河口沖でアオコレベル3相当（フィコシアニン濃度：1360～1750 µg/L）でした。

<備前川>

- ・ 岩田橋、竹中橋及び備前川河口沖でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：368～502 µg/L）でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①でアオコレベル3相当（フィコシアニン濃度：906 µg/L）、土浦沖合②でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：187 µg/L）でした。

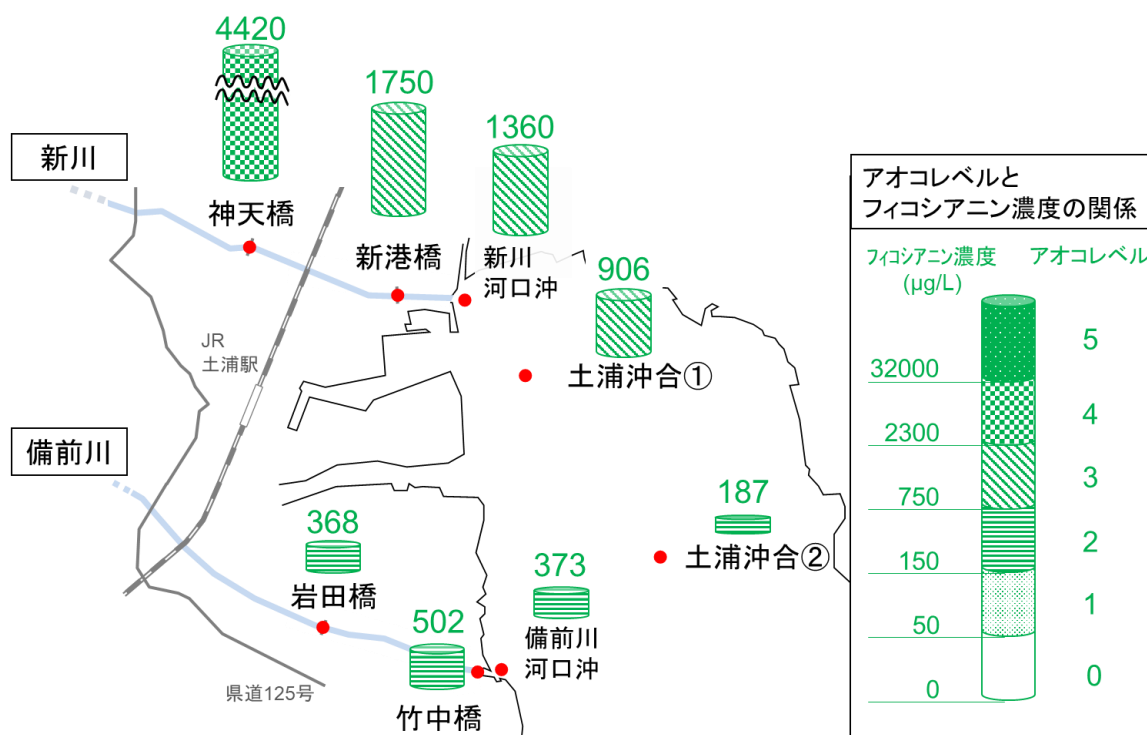


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら，2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	7月28日	7月28日	7月28日	7月28日	7月28日	7月28日	7月28日	7月28日
	10:32	10:18	9:50	10:58	11:11	9:22	9:43	9:32
水温 (°C)	26.0	27.6	28.9	28.5	28.7	29.1	29.0	29.2
pH	8.8	9.1	9.7	9.6	9.8	9.6	9.6	9.7
EC (mS/m)	20.2	32.8	28.8	16.7	22.7	28.6	29.7	28.8
透視度 (cm)	17	14	12	11	9	11	14	12
フィコシアニン (μg/L)	4420	1750	1360	368	502	373	906	187
クロロフィル a (μg/L)	1480	727	397	198	481	299	370	133

● (参考) アオコレベル (https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000042117.pdf)

